

# 令和7年度当初予算 概要

令和7年2月  
危機管理室

## 1 令和7年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和7年度 当初予算案(A)	令和6年度 当初予算(B)	増減 (A)-(B)
一般会計	136	171	▲35

※職員給与費を除く

## 2 主要施策



### (1) 令和7年度 予算要求の方針

近年、災害は、頻発化、激甚化している。危機管理室では、災害時において、被害を最小限に留め、市民が自らの命を守れるよう、自助・共助を育むとともに、実際に災害が起きた場合でも、的確、迅速に対応できる「災害に強いまちづくり」を目指す。

### (2) 令和7年度 「安らぐまち」の実現に向けた主要施策

#### ● 市の防災体制及び訓練の強化

災害に、より迅速・的確に対応できる市の防災体制を構築するため、より実践的で効果のある防災訓練を実施し、市職員の防災対応能力の向上を図る。

また、全国的に大規模災害が頻発していることを受け、備蓄の管理体制の強化に努める。

##### 【拡充】 創ろう！北九州防災トレーニング

予算額 9百万円

災害シミュレーションの検討を行い、より実践的で効果のある訓練を実施する。



【区防災訓練の様子】

##### 【継続】 災害に備えた備蓄整備強化事業

予算額 19百万円

非常用の食料及び飲料水、要配慮者用の生活物資等の備蓄整備を計画的に実施する。

##### 【継続】 ワンストップ備蓄管理システム

予算額 9百万円

災害に備えた物資の「納品、棚卸、回収、システム入力」等の管理を一元的に行うため、配送ノウハウ等を有する専門業者に委託し、備蓄物資の適正な管理体制を構築する。



【備蓄の管理イメージ】

## ● 市民の防災意識と地域防災力の向上

いかなる自然災害においても、被害を最小限に留め、市民が自らの命を守れるよう、自助・共助を育むとともに、実際に災害が起きた場合でも、的確、迅速に対応できる「災害に強いまちづくり」を目指す。

### 継続 地域と連携した避難所開設・運営事業

予算額 8百万円

迅速な避難所の開設や地域防災力の向上のため、地域住民と連携して行う避難所の開設・運営事業を実施する。

### 継続 個別避難計画作成促進事業

予算額 5百万円

災害時における避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を支援するため、避難行動要支援者の状況等を把握している福祉専門職と連携し、個別避難計画の作成を促進する。

## ● 被災地の復興支援

大規模な被害を受けた自治体に対し、職員を派遣するなど、積極的な支援に取り組む。

### 継続 被災地復興支援事業

予算額 10百万円

令和6年能登半島地震等の被災地に対し、国や他都市と連携し、復旧復興を支援するため、職員を派遣する。



【被災地派遣業務の様子】

### 3 主な事業

#### 「安らぐまち」の実現

##### ●生活基盤の「安心」を支える

**拡充** 創ろう！北九州防災トレーニング 予算額 9百万円

災害シミュレーションの検討を行い、より実践的で効果のある訓練を実施する。

**継続** 災害に備えた備蓄整備強化事業 予算額 19百万円

非常用の食料及び飲料水、要配慮者用の生活物資等の備蓄整備を計画的に実施する。

**継続** ワンストップ備蓄管理システム 予算額 9百万円

災害に備えた物資の「納品、棚卸、回収、システム入力」等の管理を一元的に行うため、配送ノウハウ等を有する専門業者に委託し、備蓄物資の適正な管理体制を構築する。

**【問い合わせ先】**

危機管理室 危機管理課  
角野(課長)、東(係長)  
TEL 093-582-2110